

くらき永田保育園便り



例年であれば、園庭のプールが片付く運動会モードに変わっていきませんが、日中炎天下でカラダを動かすには危険な天候状態が続きそうです。暑さ対策をしながらの保育となりますが、こどもたちの「楽しい」や「やってみたい」が失われることが無いように配慮していきたいと思えます。また、今年度は11月1日(土)に運動会と発表会が合体した新たな行事にむけて職員がアイデア出しを行っています。子どもたちが表現したいことは何か? 子どもたちが参加参画するためにどのように話し合いをするべきかなど試行錯誤を続けています。保護者のための「見せる保育」からは遠のいてしまうかもしれませんが、行事に向かうまでの生活で育つことを第一に考え準備を進めたいと思えます。

大規模災害に備えての確認

今月は保育園でも防災強化月間で、防災・減災・備蓄などについて再点検を行う予定です。この機会に大規模災害時の確認を再度行いたいと思えます。

- ・ 電話がつながりにくい状態が想定されますので、園からの情報はNTT災害用伝言ダイヤル(171)をダイヤルし利用ガイダンスに従って下さい)により情報を提供していきます。
- ・ 震度5以上の地震の際は安否にかかわらず至急お迎えをお願いします(交通機関が乱れる為)。
- ・ 大規模災害が実際に起こった際でも 保護者の方にお子さんを引き渡すまでは開園時間を超えても保育園で責任を持ってお預かりします。

今年もやります『こどもまんなかテラス』

昨年に引き続き、地域子育てイベント『こどもまんなかテラス』を10月11日(土)に行います。昨年以上にパワーアップして保育室では魅力的な体験型ワークショップがたくさん。園庭ではオーガニックな食べ物とお野菜、そして、地域の子どもたちが中心となったパフォーマンスと楽しみ方いろいろの一日となります。在園児だけでなく、卒園児や子育て中のご家庭みんなで楽しめること間違いなしです。お友達をお誘いの上、遊びに来てください。

子どもの文化を大切に

開園当初から子どもを育てるだけでなく、「子どもの文化」を大切にすることにこだわってきました。子どもたちにとっては優良な絵本や質の高いおもちゃは「子どもがはじめて出会う文化財」でもあります。先月の東郷なりさんの絵本原画展でも作家さんの絵本や子どもの世界に対しての熱いメッセージを聞かせてもらいました。そして、子どもたちが遊びを通して世界を理解したり世界を上げたり、また、遊びを通して自分で出来ることが増えていくという保育の基本である「遊び」の大切さを再確認する時間になりました。そして、その遊びを保障している絵本やおもちゃの文化も次の世代に引き継いでいきたいと思えます。

各クラスの『こどものふとしたつぶやき』をお伝えします！



にこにこ

にこにこ組のこどもたちにとっての『つぶやき』とは、「あー」「うー」などの喃語や、泣き声、表情や仕草など様々なサインそのものだと考えています。こどもたちはそれぞれの表現の仕方、一生懸命に自分の気持ちを伝えようとしてくれています。

Hちゃんは、離乳食を食べる前のおむつ替えが終わると、保育士の手を握って「ていていたい」と食事スペースの方を指差しながら“ごはん食べにいこうよ”といつも教えてくれます。

6か月になったばかりのIくんは、いつも表情でたくさんのことをつぶやいてくれます。保育士と目が合うと、にこっと笑顔を見せてくれるIくん。ウォーターマットに自分から乗っかり、感触を楽しんでいる時の表情は、とっても真剣でしたよ。

これからもにこにこ組のこどもたちの様々な『つぶやき』を拾っていき、その時々、気持ちをこどもたちと一緒に分かち合っていきたいなと思います！



よちよち

4月の頃に比べると言葉が増えてたくさんお話をするようになってきたこどもたち。

大人とのやり取りも少しずつ言葉でできるようになってきました。遊びの中でも何やらごによごによと言いながら遊んでいる姿があります。

例えば、おままごとでの様子です。Oちゃんは料理を作っている間「おいしそう！おいしそう！」と言いながら作っていて、料理が完成し食べる真似をすると「おいし〜い！」と嬉しそうに笑っていました。

また、くまの人形のお世話をしていたMちゃんは「ポテトとおいもどっちがいい？」「ジュースだよ」などと自分でイメージを膨らませながら人形とのやり取りを楽しんでいました。

次に、食事の様子です。酢の物を食べたYちゃんは小さな声で「…すっぱい…」と一言。表情も相まって思わず微笑んでしまいました。

こどもたちの表現の仕方が豊になり、こどもたちがお話ししている様子はとても面白く「そんなことも話せるようになったの!？」と大人たちは驚いてしまいます。





すくすく

亀のあーちゃんがテラスに遊びに来ると、すくすく組のこどもたちは「あーちゃんいるよ！」ととても喜んでます。先日、室内からあーちゃんの姿を見つけたYちゃんは「あーちゃんを助けに行く！朝になったら！」とつぶやいていました。助けるという考えや『今』ではなくて『朝』という発想が面白いな～と思って見ていると「あーちゃんなにしてるのー？おやつたべたいのー？」と続けて語り掛けていました。「あーちゃん、おかしたべたいっていつてるよ！」と保育士に教えてくれたり、あーちゃんの姿が見えなくなると、「あーちゃん、どこいった？おかいものしてるのかな？」と想像を巡らせながらつぶやいたりしています。

また別日には、ホールで『月夜のポンチャラリン』を踊りながら、保育士が「もう少しすると夏祭りだから甚平を着てきてもいいんだよ」と伝えると「じんべいつてなに？」とYちゃん。

すると近くで聞いていたRくんが「ジンベイザメ！！」とすかさず返事をしていて、連想ゲームのようでした。

こどもたちは大人が考えもしないような発言をするので、思わず笑ってしまう事も多いです。言葉も想像力も増してきているこどもたちと、これからも一緒につぶやきや発見を楽しんでいきたいです。



異年齢

夏祭り遊びでの制作中、かき氷用にコップに氷マークを貼っていた子どもが、上下を逆さまに貼ってしまっていました。保育士が氷マークの向きを伝えると「じゃあこれ、お祭りのチンってするやつでいっか」とカップを反対向きに置き、満足気な様子。“かき氷カップ”から“呼び鈴”に早変わりし自由な発想に驚かされました。

また、紙コップの切れ端を見て「これ腕に付けるやつにしたい」とつぶやく子も。ペンを用意すると、一生懸命に模様を書き、こどもたちのオリジナルブレスレットが完成しました。

子どものひらめきは、遊びをグンと広げ大人の想像を軽々と飛び越えていきます。

「ただの紙コップ」も子どもたちに掛ければお祭りの呼び鈴やオシャレなアクセサリに変身しました。

夏祭りごっこでは、そんな子どもたちのアイデアやつぶやきを形にして、かき氷・金魚・亀すくい・射的・くじ引きなど様々なお店さんが展開され、店員さんになり切り手作りのチケットを渡して遊びを楽しむ姿が見られました。

これからも子どもたちの「アイデア・つぶやき」を形にして一緒に盛り上げていきます。



給食室

暦の上ではもう秋に入りますが、まだまだ暑い日が続いていますね。

とはいえ、お店に並ぶお野菜や果物に目を向けると、夏からだんだんと秋に変わり始めているなど感じます。

保育園の給食もできる限り季節の食材、旬の食材を使うように心がけて献立を考えています。今月は、物語メニューにもなっている「きのこといものシチュー」で秋の味覚を感じてほしいなと思います。このメニューは、去年の表現者展の時に募集した物語メニューリクエストで、ご家庭から出して頂いたものを参考にしたので、こどもたちにも喜んでもらえるように、色々と工夫して提供する予定です！

これから食欲の秋に向けて、こどもたちの胃袋をたっぷり満たせるような献立を考えて作っていきます。

「ぜんぶたべたよー！」

「おかわりしたよー！」

「にがてだったけどがんばってたべられたよー！」

「おやつもぴっかりんするね！」

今も、毎日こどもたちが声を掛けに来てくれています、その声をもっともっと増えていくように、給食室一同、張り切っています！



食育係より



今回は、異年齢クラスで行われたクッキングの様子を紹介します。

お集まりの時間に、保育士がみんなで育てたピーマンをどのようにしたいか聞いたところ、「食べたい！」「スタンプで遊びたい！」など様々な声があがりました。

今回は、電子レンジで簡単に作ることができる「無限ピーマン」をみんなで作ることにしました。

作り方はとっても簡単で、まずピーマンを小さく切り、ブンブンチョッパーに入れます。みんなで順番にブンブン引っ張りました！その後は、電子レンジで加熱し、鶏がらスープの素、ごま油、マヨネーズドレッシング、ツナ缶を入れて、混ぜたら完成です。

自分たちで育てて、自分たちで作ったピーマンは特別だったようで、ピーマンが苦手な普段あまり食べない子もよく食べていました！

これからも、食に対して、こどもたちにさらに興味を持ってもらえるように、楽しいことをたくさんしていきたいなと思います！



今月の行事

- 12日 久保先生のわらべうた
- 13日 布団乾燥
- 15日 敬老の日
- 20日 TOY活（楽器で遊ぼう&演奏会）
みなさん、遊びに来てくださいね。
- 30日 クーベルチップ 絵本読み聞かせ・販売



来月の行事

- 4日 布団乾燥
- 11日 こどもまんなかテラス
- 13日 スポーツの日
- 16日 久保先生のわらべうた
- 29日 内科健診

